

挑戦

大宮小・済美小・大宮中 夢のタスキを9年間つなぎます！

なでしこ

『なでしこの 色鮮やかに 明るく強く 優しい心で 毎日挑戦』

東京都杉並区立大宮中学校 学校だより

平成30年12月20日 第8号(18-8)

発行責任者：校長 関田 誠

12/9 朝会 校長講話

『平等に与えられているもの』の話

～時間はある、ないではなく作るもの～

今朝は『平等に与えられているもの』という話です。一学期に言いました。「どんな人にも1日24時間は平等」。皆さん全員、あのトランプさんや大谷選手も。一日が25時間あるズルい人はいない、と。では人による『時間の違い』は何ですか？一つは『寿命』です。これは予測不能で、意思の力で何とかなりませんね。もう一つの違いは、平等に与えられた24時間の『時間の使い方』です。私たちはひんぱんに言います。「〇〇をするのに時間がある（ない）」。別の言い方もできます。「〇〇をするために時間を作る」。時間はある、ないではなく、作るものという考え方です。これは例えば、部活や習い事、定期考査や受験の準備といった目先の話でなく、皆さんの生き方として大切な考え方です。

私の友人のお嬢さんの話です。今、大学受験で二浪中です。中学、高校はバスケットに打ち込んだスポーツ大好き女子で、勉強は高2までテスト前に頑張る程度、人に威張れるほどやっていなかった。部活を引退して将来の考えがようやく熟します。彼女は浪人しても絶対医者になると決めます。予想通り、現役で学力が足りず医学部不合格。一浪しても駄目。この春から9ヶ月、毎日15時間勉強しているそうです。つまり寝る、食事、風呂の時間以外は机に向かう、ある意味狂気の世界です。私が駅で偶然会ったとき、「よく頑張れるね」と言うと、「浪人生は勉強しかやることがないんです…」と、サラッと言いました。不安や悩みを感じさせないキラキラした瞳でした。

このお嬢さんの推進力は何ですか？大宮中生なら分かりますね。勉強に限らずスポーツでも習い事でも、本当の夢や目標ができた時の人間は、文字通り『寝食を忘れて打ち込む』ゾーンに入ります。夢や目標という『熱さ』がポイントです。ただし、彼女が果たして無事合格できるかは別の話です。努力は必ず報われるというおとぎ話はありません。しかし努力する人にはチャンスが与えられます。3年生のみなさん、これから正念場となる進路選択に向けて、（時間がある？ない？）ではなく、10分、20分から時間を作ろう。悔いのない2ヶ月を自分プロデュースしてください。今は人の一生の中で、特別に学びに打ち込む時です。1・2年生もこれからの先輩の頑張りを良いお手本に、しっかり応援しましょう。皆さんの出番も意外に近いですよ。まず、普段の授業を大切に！そして家庭学習を習慣にする！授業中の集中力を高めよう。もちろんまわりの集中を奪うなどもっての外の行為です。😊



11/30 地域清掃で頑張りました！

授業ぶらっと訪問⑦

12月13日(木) 1B 英語 小川小百合主幹

まずグリーティングから。次にアクティビティ「～しています」をベラベラプリントで60秒速読に挑戦。次にペアで「Emi」が「study English」している絵を見て、「Emi is studying English.」を現在進行形で話すトレーニング。絵は16種類ありました。電子黒板で60秒をカウントしてくれます。次に進出単語・熟語がフラッシュで次々出てくるのを、読んでいきます。発音・アクセントを真似て読んでいました。次にレストランで若者が様々なことをしている場面が映ります。小川先生は生徒を指名しながら、何をしているかを英語で答えさせています。矢継ぎ早に進行します。

教科書に入ります。電子黒板にページが大きく映ります。小川先生が読み、続いて生徒が音読。すらすら読める人、たどたどしい人もいます。文の意味を確認してから、デジタル教科書の『本場の人の読み』の後に生徒が読み直します。生徒は大きな声が出ています。英語は声を出してなんぼの教科です。小さい声ではいけませんので、良い感じです。この授業は合格です。仕上げにペア読みです。ペアになってひとり一文ずつピリオドまで読んでいきます。続いてリスニング。部屋の中で何かをやっている人の絵を見て、それが誰かを聴き取ることをしていました。最後にプリントが配られます。be動詞と組み合わせる動詞のingをつける時に、そのままつけねばよい場合と、語尾が不規則に変わる動詞のチェックをして、プリント問題に取り組んでいます。小川先生は机の間を回りながら、出来具合をチェックしています。14人の授業なので、目が行き届いている様子でした。



授業者の小川先生、終始歯切れの良い言葉を飛ばしながら、テンポよく流れていきます。オマケにダウトゲーム。「Dout!」「I see」などと言いながら楽し

そうにカードのやり取りをしていました。小川先生がゲームの説明を始めると、先走って勝手におしゃべりを始める人がいて、説明が中断の場面は、少々気になりました。ゲームであれ、どんな時も先生が説明しているときは、しっかり聴く。このけじめが、集団として学力を高めるために大切です。とは言え、アッという間の50分間終了。

12月13日(木) 2A 国語 堀教諭

今日は、1年生にお薦め本を紹介するスピーチの時間です。原稿を暗記してスピーチをします。まず全員で練習。全員立って、ぶつぶつ言いながら暗記度をチェックしています。今日は女子の番ということで、



女子は緊張ぎみです。発表時間は2分間です。発表者以外は、審査票に採点をする仕組みになっています。タイムキーパー役もいます。お薦め本の紹介内容は、『あさのあつこさんの13歳のシーズン』について。登場人物の中1四人の感情が出来事で団結していく様子に親近感。『ネルソンさんあなたは人を殺しましたか?』戦争の恐ろしさを小中学生に語るネルソンさんの生き方を生き生きと伝える本。『梶井基次郎さんの檸檬』。日本の近代文学です。小説を読んで、初めて(美しい)と思えた本でした。『人間はどこまで耐えられるのか』。ヒトの事件や事故を、体の作りに合わせて説明しているのが楽しい。『重松清さんの口笛番長』マコトとツヨシの一年間の交流。私の好きなセリフは「泣きたいときは口笛」。口笛を吹けば涙が止まる。『草野たきのリボン』部活で色々あって落ち込み、クラス替えで自己主張ができなかった主人公が、成長する姿が良い。『君がくれた希望のかけら』恋愛やいじめがリアルに描かれている。今一緒に生活している友だちの大切さや希望をもつことの大切さが描かれている。『僕らの最低の夏』友だちとのことや家の問題で「そう、複雑で奥が深いのが人生なんだ」という主人公の兄のセリフが心に残った。『強い体をつくる部活ご飯』一年生は思春期で伸び盛りなのに、食事に偏りがあったり、添加物を摂取している

のはマズいことです。等々の紹介でした。

最近読書界では、ビブリオバトルという取り組みが盛んです。一定の時間内に自分の愛読書を紹介して、聴いていた人を一番読みたくさせた人が勝者というバトルです。テレビでもビブリオバトルの様子を紹介する番組があります。自分の愛読書を熱く面白く語る姿が感動を呼びます。今日の二年生のスピーチは、テーマが愛読書ではなく、中学校一年生にためになる本を探して紹介することでした。今日の女子は、いずれ劣らぬ熱いスピーチでした。中には緊張してチョコッとしてくじって、終わってから涙を流している生徒もいました。それだけ本気だったのです。課題に向けてひたむきに取り組む生徒の姿勢は素晴らしい。二年生、春に向けて着実に成長しているのを感じることができました。

12月14日 国語 お話しパンプキン



小学生への読み聞かせのための授業。『お話しパンプキン』という団体が、ゲストティーチャーとして二年生の指導にあたりました。A、B組五人ずつの読み聞かせのプロが、お手本とポイントをレクチャー。最初に見本の読み聞かせ。絵本『白いうさぎと黒いうさぎ』を自分の頭の位置で固定して、丁寧にめくりながら、ゆったりとした口調で丁寧に読んでくださいました。聴いている2年生も絵本を真剣な表情で聞いています。まるで絵本の絵が動くさまが浮かんでくるような、素敵なお読み方です。小さな子どもから大人までわかるうさぎの恋の物語でした。二年生は実際に三学期に小学校に行って読み聞かせをするのです。レクチャーは、まず絵本の選び方から。小学校の図書館にある本。絵がくっきり遠目に見やすい本、低学年、中学年、高学年それぞれに合った本がある。季節や行事の本は季節を合わせる。後で大人のフォローが必要な話や写真は避ける。次に練習をします。本の持ち方やめくり方も決まっています。新しい本は開き癖

をなくして、平らにします。「なるほど～」という声が漏れます。「絵の世界が違って見える」表紙の見せ方もテクニックがあります。読み方のポイント。ゆっくり読む。絵を味わう時間を与える。語尾を大切に文末までしっかり発音する。ごく自然に、あまり芝居がかかる必要はないが、メリハリをつける味付けが難しい。さらに『お月さまってどんな味?』を使って、悪い読み方と良い読み方を実演します。良いほうは絵本の絵の世界に入っていくような読み方です。文のないページは絵をじっくり見せる時間を与える。「大人は文字を読み、子どもは絵を読む」と言われているそうです。

その後、実際に読む練習開始。その間、隣にいた渡辺先生に「自分の娘に読み聞かせをやってあげてますか?」と聞くと「はい! 毎晩やります! 今日の講座、自分も聴いていてすごく勉強になります」と言っていました。私もこの講座を体験していたら、自分の子どもにこんなふうに読んであげられたなど、大宮中の生徒がうらやましくなりました。最後に4~5人で5つのグループに分かれて、実際に読む練習をしました。車座になって講師を囲んで、意欲的に練習をしており、その姿に私は感動していました。

12月16日 C組 濟美養護学校交流会

二校時に濟美養護学校で交流会をおこないました。司会進行は濟美養護の生徒さん。大きな声でハキハキと進行してくれました。おやつタイムで収穫したサツマイモで焼き芋とお茶のおもてなしを受けました。その後、振り付けのある濟美養護学校の作った歌を披露していただきました。C組からはお返しに、トーンチャイムの演奏をおこないました。音楽の時間に練習してきたクリスマスソングの音色は、とても素敵でした。そこで、C組の担任の先生方に「21日の終業式後に、体育館でA・B組に披露しませんか?」と提案して実現することになりました。楽しみです。



杉並区 駅伝大会

12

9(日)

『男子7位入賞! 女子11位一区区間賞!』

冬曇りの寒空の下、和田堀公園陸上競技場をスタート・ゴールにして、大宮中学校の周辺道路の5区間で、区内中学校23校と南相馬市代表チームが参加しました。我ら大宮中学校は女子チームは（阿部琉亜海⇒三宅結衣子⇒仲佐綾花⇒田口陽菜⇒大平朱莉）で、タスキをつなぎ、11位でゴール。一区の阿部さんは2.2キロを



8分00秒で駆け抜け、区間賞の健脚をいきなり披露してくれて、応援席を大いに盛り上げました。その後も粘り、何とか11位でゴール。男子チームは（阿部磨亜羅⇒宇留野流⇒三瀬暖翔⇒青山和樹⇒赤井景太）で、最後に赤井君が3人抜きで、堂々の7位でゴール。久々の入賞でした。今回は選手のサポートに回った補欠の1・2年生も含めた生徒、保護者、地域、教職員の方の応援が力となりました。ありがとうございました。



部活動 都大会出場の快挙!

卓球男女・男子バスケットボール部

今年度も本校の各部活動は、春から鍛錬を重ねてきました。今年度、中体連の都大会出場という顕著な成績を挙げたチームを紹介します。

卓球部

女子：夏季選手権卓球大会 都大会出場

団体：塩崎日菜、中村優里菜、酒井優、増田彩希、吉村碧生

個人シングルス：塩崎日菜、増田彩希、吉村碧生

・秋季新人卓球大会 都大会出場

個人シングルス 添田璃乃)



男子バスケットボール部

秋季バスケットボール新人戦 都大会出場

メンバー（宇留野流、齋藤蒼、矢島直樹、工藤海汰、新部将利、黒澤佑樹、宮川陽斗）

1・2年生は現在、男子部員が7名のみ。『七人の侍』が、区大会で準優勝、都大会に出場を果たしました。一回戦で私立海城中（部員推定40名）に58対44で惜しくも敗退しました。



部活動：寒い冬は下に向かって根を張ろう！